

生物多様性情報標準(案)

①地理情報標準項目(適合性レベル1からさらに抜粋)

採用	カタログ情報	要求度	
●	メタデータファイル識別子	選択記入	gc0403
●	メタデータの親識別子	選択記入	gc04
●	題名	必ず記入	動植物分布調査・全種調査データセット
●	版	選択記入	第4回
●	シリーズ名	選択記入	自然環境保全基礎調査データセット
●	版の識別情報	選択記入	第4回
活動識別情報			
●	活動型	選択記入	調査
●	活動名称	必ず記入	自然環境保全基礎調査・動植物分布調査・全種調査
参照日			
●		必ず記入	19950301
責任者情報			
●	責任者個人名	必ず記入	
●	<AND/OR> 少なくとも、「責任者個人名」、「責任者組織名」、「責任者職務名」のいずれかを記述します。		
●	責任者組織名		環境省自然環境局生物多様性センター
●	<AND/OR> 少なくとも、「責任者個人名」、「責任者組織名」、「責任者職務名」のいずれかを記述します。		
●	責任者職務名		
●	責任者職務コード*	必ず記入	003: 管理者
責任者住所			
●	国	必ず記入	日本
●	郵便番号	選択記入	403-0005
●	都道府県	選択記入	山梨県
●	市区町村	選択記入	富士吉田市
●	所在地	選択記入	上吉田剣丸尾5597-1
●	電話番号	選択記入	0555-72-6033
●	TDD/TTY電話番号	選択記入	
●	ファックス番号	選択記入	0555-72-6035
●	電子メールアドレス	選択記入	webmaster@biodic.go.jp
●	案内時間	選択記入	9:00-17:00
●	問い合わせの手引き	選択記入	電話または電子メールにて受付ます。
オンライン情報			
●	オンライン情報源のURL	選択記入	http://www.biodic.go.jp/kiso/15/do_kiso4.html
●	オンライン情報源の持つ機能のコード*		001: 付加的情報
●	オンライン情報源に使用されるプロトコル		http
●	オンライン情報源に使用できる応用プロファイル		
●	オンライン情報源の名前		生物多様性情報システム(J-IBIS)自然環境保全基礎調査のページ
●	オンライン情報源の説明		調査目的、方法、結果の概要が見られる。
データセットの範囲			
●	座標による地表の範囲	必ず記入	
●	西側境界座標	必ず記入	
●	東側境界座標	必ず記入	
●	北側境界座標	必ず記入	
●	南側境界座標	必ず記入	
●	<AND/OR> 少なくとも、「座標による地表の範囲」か「地理的識別子による地表の範囲」のいずれかを記述します		
●	地理的識別子による地表の範囲	G	
●	地表の範囲名称	必ず記入	日本
●	地表の範囲名称参照	選択記入	
●	時間範囲	選択記入	19890401/19920331
●	最小標高値	選択記入	
●	最大標高値	選択記入	
●	解像度コード*	選択記入	020 >= 10キロメートル
●	データセット言語コード*	必ず記入	ja
●	データセットの文字符号集合	必ず記入	shift-jis

●	要約	必ず記入	データファイルは調査票を元に、同一調査時期・同一メッシュデータの同一種に対するデータに関してはデータの重複を除外し最も新しい調査時期のデータを用いて各分類群別にデータファイルを作成した。作成ファイル名は以下の通り①哺乳類分布.txt②両生爬虫類分布.txt③淡水魚類分布.txt④トンボ類分布.txt⑤チョウ類分布.txt⑥セミ類分布.txt⑦ガ類分布.txt⑧甲虫類分布.txt⑨貝類分布.txt⑩鳥類繁殖地・ねぐら分布.txt⑪鳥類現地調査(サギ類).txt⑫鳥類現地調査(コアジサシ).txt⑬鳥類現地調査(チョウゲンボウ).txt⑭鳥類現地調査(ツバメ・ショウドウツバメ).txt⑮鳥類現地調査(ヒメアマツバメ・イワツバメ・コシアカツバメ).txt
●	目的	選択記入	自然環境保全施策の対象となるべき野生動物種の選定や、野生動物に関する各種保全施策の検討のための基礎的かつ客観的資料を整備するために作成した。
●	進捗状況コード*	選択記入	001 : 完成
●	分類	必ず記入	
●	主題	必ず記入	自然環境保全基礎調査、動植物分布調査、動物分布
●	キーワード情報	選択記入	
●	キーワード*	選択記入	動物、分布、メッシュ、哺乳類、両生爬虫類、淡水魚類、昆虫類、トンボ類、チョウ類、セミ類、ガ類、甲虫類、ハンミョウ類、クワガタ類、ハナカミキリ類、陸産貝類、淡水産貝類
●	キーワード*タイプコード*	選択記入	002 : 主題
●	キーワード*のシソーラス名	選択記入	第4回自然環境保全基礎調査動植物分布調査報告書
●	アクセスの制約	選択記入	データセットは生物多様性情報システム(J-IBIS)からダウンロードできます。
●	使用の制約	選択記入	http://www.biodic.go.jp/dload/に掲げる注意事項に同意できない場合は、データファイルを利用することはできません。
●	データ品質情報		
●	データ品質		
●	データ品質適用規模コード*		001 : データセット
●	データ品質の説明		本データセットは各動物種の専門研究者が各種の目的で得た分布データの提供を受けることにより作成されている。このような性格のデータであるため、調査地域あるいは調査時期の偏在、調査方法の違いなどにより収集されたデータにばらつきがある。また、分類群や種によっては分布状況を的確に表現するほどの情報が収集できなかった場合がある。このため、本データで分布情報のないメッシュでも、実際には分布している場合も多いことに留意する必要がある。個々の種について、収集された分布情報がその種の分布状況をどの程度表現できているかについてのコメントが各々の報告書に掲載された分布図に付されている。利用に際しては参照されたい。
●	データ品質評価		
●	データ品質の報告の種類コード*		018 : 論理的制度/ユーザ定義
●	定量的な評価		
●	定量的な報告		
●	定量的な適合性を計る尺度		
●	適合性に関する仕様	動植物分布調査報告書・情報処理の内容と方法・データ点検	
●	適合性に関する説明	データの記入ミスあるいは調査対象種の誤認等を訂正するため、後述の3通りの方法でデータの点検を行い、必要に応じ調査者に照会するなどにより、所要の訂正を行った。①論理チェック②メッシュコードによる点検③専門家による点検	
●	適合性コード*	001 : YES	
●	<AND/OR> 少なくとも、「定量的な適合性を計る尺度」が「定量的な評価結果」のいずれかを記述します		
●	定量的な評価結果		
●	データ品質評価値	0	
●	評価値の計量単位	%	
●	データ品質評価手法	適合性点検後のエラー率	
●	品質評価の日付		
●	空間表現型コード*	選択記入	001 : テキスト
●	空間参照系型	選択記入	001 : 地理的識別子
●	配布データ識別子	選択記入	
●	フォーマット名	選択記入	txt
●	配布に使用するメディア	選択記入	
●	配布データのオンライン情報源のURL	選択記入	http://www.biodic.go.jp/sei/owa/do04
●	データセット応用スキーマのURL	選択記入	
●	適合性レベルのコード*	必ず記入	001 : レベル1
●	メタデータの言語コード*	必ず記入	ja
●	メタデータ文字符号セット	必ず記入	shift-jis
●	メタデータの日付	必ず記入	20020315

②FGDC主要項目に固有の項目

採用	カタログ情報	要求度	
	責任者情報		
	Address Type		連絡先住所のタイプ。「Mailing Address」「Physical Address」「Mailing and Physical Address」のいずれか。
	Distribution Information 配布者情報		
	Publication Place		データが発表・リリースされた都市の名前。都市を明らかにするのに必要な場合は、国や州の名前も記述する。
	メタデータ情報		
	Metadata Contact		メタデータの情報に責任を持つ団体名。
	Metadata Standard Name		使用しているメタデータ標準の名称。この場合は、FGDC Content Standard for Digital Geospatial Metadata。
	Metadata Standard Version		使用しているメタデータ標準のバージョン。この場合は、FGDC-STD-001-
	その他		
	Browse Graphic File Name		データのサンプルを表示する画像ファイルの名称。
	Browse Graphic File Description		サンプルの説明文。
	Browse Graphic File Type		画像ファイルのファイルフォーマット。
	Geographic Data Presentation Form		geospatialデータが表現されている地図のスタイル。

③その他、基本項目として追加すべき項目

採用	カタログ情報	要求度	

④ Biological Data Profile : EXTENDED ELEMENTS

採用	カタログ情報	内容
	生物分類	
	分類学キーワードシソーラス	データがカバーする生物種についてKeywordを集めたシソーラス(類義語) 辞書の名
	分類学キーワード	データに存在する種名、または分類群名。
	引用分類システム	Classification system の引用。モノグラフやオンライン・データ(インターネット上の分類学情報データベースなど)も含む。Integrated Taxonomic Information System(ITIS:北米の研究機関のコンソーシアムが管理運営する分類学情報データベース。Species2000のメンバーでもある。)に記載がある分類群は、それを使用すること。
	引用分類システムの修正内容	使用している Classification system の一部の種に変更を行っている場合、それについて記述する。
	同定資料	正式な Classification system ではなく、フィールドガイドなどを使用した場合、その名
	同定者	種の同定を行った個人についての情報。
	分類手法	種の同定に用いた手法。標本の処理、博物館標本との比較、同定の根拠となる特徴、化学的または遺伝子的分析、など。
	分類達成度	同定不能だった種の割合とその扱いについての情報。それらの重要度の推定。
	標本	収集された標本の種類。例えば、"herbarium specimens" "blood samples" "photographs" "individuals"
	標本管理者	標本について責任のある機関や人物(博物館員など)についての情報。
	分類群範囲	データや採集標本に含まれる分類群の範囲。データセットや採集標本が多数の分類群を含む場合に有用である。例えば、「すべての維管束植物について、科もしくは種レベルで同定した。蘚類と地衣類については、それぞれ蘚類綱、地衣界、レベルでしか同定していない。」
	分類群情報	データセットや採集標本に含まれる分類群についての情報。界レベルからデータセットまたは採集標本を記載したレベルにわたる情報を記述することが望ましい。界・門・綱・目・科・属・種にわたり、できる限り記述する。
	分類ランク	Taxonomic_Classification.で使用する項目。"Kingdom" "Division" "Phylum" "Subphylum" "Superclass" "Class" "Subclass" "Infraclass" "Superorder" "Order" "Suborder" "Infraorder" "Superfamily" "Family" "Subfamily" "Tribe" "Subtribe" "Genus" "Species" または自由記述
	分類ランク名称	Taxonomic_Classification.で使用する項目。分類ランクの名称を記述する。
	俗名	Taxonomic_Classification.で使用する項目。Common Name を記述するか、または、その生物種の一般的なグループ名を記述してもよい。例えば、insects, vertebrate, grasses, waterfowl, vascular plants など。
	その他	
	分析ツール	分析ツール、モデル、統計処理の記述。
	ツール所管	ツールか、モデルか統計の手続きが得られた当事者。るかもしれないパーティー。
	引用ツール	Citation information about the tool, model, or statistical procedure.
	ツールアクセス	Instructions on the steps required to access the tool, model, or statistical
	ツール用OS、PC	The brand of computer and its operating system that the tool, model, or statistical procedure requires.
	方法論タイプ	The type of methodology being documented, such as field or laboratory methodology. "Field" "Lab" free text
	方法論キーワードシソーラス	Reference to a formally registered thesaurus or a similar authoritative source of methodology keywords. "None" free text
	方法論キーワード	The name of a method used in the field or laboratory work.
	方法論表記	Equivalent to "Materials and Methods" in a journal article. Describe the physical methods used to gather data, the experimental design, sample frequency, treatments or strata, statistical and spatial design of the sampling, and sample completeness, representativeness, and biases. For example, in a bird survey, relevant elements would include the methods used to detect species occurrences (casual sightings, transects, focal point surveys, vocalizations, mist nets), whether or not evidence of breeding activity was required, descriptions of the habitat strata in a stratified design, and known biases (e.g., non-territorial birds were undersampled, and some juveniles could not be identified to species.)
	引用方法論	Information referencing the methods used.
	開始時間範囲	A name, code, or date for the beginning of an event or period in geologic time.
	終了時間範囲	A name, code, or date for the end of an event or period in geologic time.

